



わかしお

糸魚川市立能生小学校
学校だより NO. 6
令和3年7月19日

地域とともに歩む能生小学校！ II

【フウセンカズラ高齢者見守り隊の活動】

「能生地区の一人暮らしのお年寄りとフウセンカズラを通してかかわることで、思いやりの心や人とのかわり方を学ぶ」という趣旨の基で「フウセンカズラ高齢者見守り隊」の活動を始めて、今年は節目の10年です。

☆フウセンカズラ種まき

5月18日（火）、能生地区元気印の会の村井康様と武藤武治様からご挨拶や種のまき方を教わり、その後、プランターと鉢にフウセンカズラの種を植えました。



☆フウセンカズラ高齢者見守り隊発会式※苗のお届け6月16日（水）

順調に成長したフウセンカズラの苗を持って、5・6年生は自分の住んでいる地区長・町内会長さん方と一緒に、お年寄り宅を訪問しました。そして、玄関先で、短時間ではありますが、フウセンカズラの鉢と、3年生が書いた手紙をお渡ししました。

6年生は、さらに自分たちで考えて、マスクケース、缶バッジ、カレンダーをお届けしました。



もうすぐ夏休み！

後2日寝ると夏休み！　そこで、ここでは、今年度の
通知表と夏休みの宿題についてお知らせします。



通知表

	学 習 の 記 録	特別活 動の記 録	行 動 の 記 録	出 欠 の 記 録	道 徳 の 記 録	学 校 か ら の 記 録 (総 合 所 見)	外 国 語 活 動 の 記 録	総合的な 学習の時 間の記録
低 学 年	◎	◎	◎	◎	○	○		
中 学 年	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○
高 学 年	◎	◎	◎	◎	○	○		○

今年度も毎学期末に、上記の項目を記した通知表（「学びのたより」）をお渡
します。なお、○印の各記録については、2学期のみ個別懇談で直接お話しさ
せていただきます。よって、2学期の通知表は○印のみ斜線となります。

☆個別懇談 11月30日（火）～12月2日（木）※3日（金）：予備日

さて、昨年度から、学習指導要領（文部科学省が告
示する教育課程の基準）が変わり、評価の観点とは3つ
の資質・能力（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、
「主体的に学習に向かう態度」）になりました。

「学習の記録」の3つの資質・能力の右側には、全
学年共通でその評価内容を記載します。ただ、そこには
単元名が書かれていないので、わかりにくい面があ
るかと思います。そこで、通知表には、「○学期の学習」として、その学期に学
習した単元名等を記載した紙を入れます。



全教科、この3観点で評価します。各担任が事前に設定した「おおむね満足
できる」状態をクリアすれば「できる」、クリアしていなければ「もうすこし」、
十分にクリアしていれば「よくできる」の欄に○を付けます。それぞれ3つの評
価結果の人数は、相対的な割合で決めるものではありません。ですから、ある観点について、クラス全員
が十分にクリアしていれば、全員が「よくできる」に
○が付きます。もちろん、その逆もあり得ます。

今のお子さんの学習状況をご確認いただき、認め、
励まし、改善する一つの材料としていただければあ
りがたいです。

なお、担任・保護者印欄は廃止しました。



夏休みの宿題～「自分で決める」夏休み！～

学習指導要領が掲げている育成すべき「生きる力」とは、以下のことです。

- ☆① 基礎・基本を確実に身に付け、いかに社会が変化しようと、②自ら課題を付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力
- ☆③ 自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性
- ☆④ たくましく生きるための健康や体力
- ※この3つをバランスよく育てることが大切です。



そこで学校ではこれらを踏まえて、家庭で過ごす夏休みについて、以下のような取組をすることにしました。※各学年の宿題は、学年だよりをご覧ください。

- ①：全校児童が問題集を購入し、全員が学習内容を確実に身に付けられるようにします。生活科・総合的な学習の時間の課題として、シートを書くことは、学年の課題となります。
- ②：国語・図工・科学研究の中から自分で取り組みたいものを1つ以上決めて取り組みます。自主学習や100ます計算・漢字は原則、希望制です。
- ③：読書や家庭での「仕事」は、全員が取り組みます。お金の使い方や友達の家・公共施設ではマナーよく過ごす等の事前指導をします。
- ④：生活表の記入や、早寝・早起き・朝ご飯の奨励、ラジオ体操や運動参加への呼びかけ、新しい生活様式に沿った行動を事前指導します。



上越管内には、「宿題」を全て廃止し、子どもが全て自分で「課題」を見つけ、取り組むことを決めるという学校もあります。

能生小学校では、特に②について、昨年度と若干変わりました。これからの予測が困難な時代を生き抜く子どもたちの将来のためにも、②の資質・能力を身に付けていくことは必要不可欠と考えます。学校では例示資料や取り組み方を配付したり、担任が何に取り組むかの相談に乗ったりします。

夏休み明けに、子どもが、「あ～、今年の夏休みは、自分の考えたことができた！」と言えることを願っています。ご家庭でも、お子さんが何に取り組むかを一緒に考えていただければ幸いです。



一方、「計画したことができなかったから、2学期はがんばろう！」と言うお子さんもいるかもしれません。今回の「自分で決める夏休み」の経験を踏まえて、2学期もさらに成長できるように、学校では、責任の伴う自己決定やよりよく問題を解決する資質・能力が身に付くように、支援してまいります。

学年懇談会で寄せられた意見にお答えします。

○学校生活のきまりに、「自転車に乗って出かける際は、親の許可をもらう」という文言を入れてほしい。

⇒「能生小みんなのきまり」には、「自転車は、約束事を守って正しく安全に乗ります」と明記してあります。「きまり」はできるだけ少ない方がよいと考えます。「親の許可をもらう」に関しては、お子さんの実態に合わせて、親子でしっかりと話し合い、ご家庭での「約束事」としてお考えください。



○下校時に子どもがけがをした。それを発見したある保護者が車に乗せ、一緒に下校していた子どもたちも同乗させた。こういう時の対応の仕方、判断はどうしたらよいか？ 知らない人がこのような対応をしてくださった場合の子どもたちの対応の仕方は？

⇒「知らない人の車には乗らない」は大原則です。けがの状況や、その時の子どもの人数によって判断は異なります。きっと、乗せてくださった保護者の方も悩まれたことでしょう。その状況に応じてご判断いただければと思います。なお、下校中のことで（急を要するけがでなければ）、学校にお電話をいただければ、職員が対応することも可能です。



○児童館のフェンスによじ登っている子どもがいる。

⇒そういうお子さんを見かけたら、注意したり、児童館に連絡したりしていただければありがたいです。また、各ご家庭でも、フェンスはよじ登るものではないことや、高さが増すと危険なので登らないように話してください。学校でも指導します。

けがや事故のない、思い出に残る夏休みにしましょう。8月26日（木）に元気な子どもたちの顔を見られることを楽しみにしています。



7月15日は、能生小学校の誕生日。今年で147歳。

お祝いする活動（校章の色塗り・自由参加）で、158枚も集まりました。